

造影剤検査を受けられる患者さんへ

ガストログラフィン経口・注腸剤の供給不足に伴う代替薬剤の使用について

現在、消化管造影検査などで使用されるガストログラフィン経口・注腸用は、全国的な供給不足が続いています。このため当院では、必要な検査を継続して安全に実施するため、ガストログラフィンの代替薬剤として「イオパミロン注 300（一般名：イオパミドール）」を使用する場合があります。

イオパミロン注 300 について

イオパミロン注 300 は、通常、CT 検査や血管造影検査などで使用される造影剤です。消化管造影を目的とした使用は、日本では承認されていない使用方法のため適応外使用となります。しかし、国内外において使用経験があり、消化管造影の代替造影剤として多くの報告があります。当院では、患者さんの病状、検査の目的や必要性を十分に検討したうえで、医学的に適切と判断した場合に使用します。また、使用に際しては安全管理に十分配慮し、適切な観察を行います。

予想される副作用について

イオパミロン注 300 の使用にあたっては、造影剤に共通する副作用として、以下のような症状が起こる可能性があります。

- ・発疹、かゆみなどのアレルギー症状
- ・まれに重篤なアレルギー反応（ショック、アナフィラキシーなど）
- ・吐き気、嘔吐、腹痛、下痢などの消化器症状
- ・誤嚥した場合には、呼吸困難などの呼吸器合併症を生じる可能性

検査中および検査後は、医師・看護師が状態を十分に観察します。万一、副作用が認められた場合には、速やかに必要な処置を行います。

本使用について、ご不明な点やご心配なことがありましたら、担当医または医療スタッフへお気軽にお尋ねください。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

医療法人栄寿会 林病院
院長 五島 文恵